FUJIFILM N E W S

Vol.103

株主通信

特集

新型コロナウイルス 感染症への取り組み



株主の皆様へ

社会の期待に応え、新たな価値を提供し続ける

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、誠に ありがとうございます。

当社は、2000年以降の写真フィルム需要の急激な減少に対応して、大きく事業構造を転換し、ヘルスケアを重点事業分野と定めてきました。それは、人々の健康にかかわるこの分野が、いまだ解決されていない様々なニーズを内包した21世紀最大の産業領域であると認識したこと、そしてそのニーズにお応えするために、当社がこれまで培ってきた技術が大きく貢献すると確信していたからです。

爾来、ヘルスケア領域を当社事業成長の柱と位置づけ、 M&Aや設備投資を積極的に行い、トータルヘルスケア カンパニーとして、「予防」「診断」「治療」のそれぞれの領域 において、事業基盤を強化してきました。

そして今、新型コロナウイルス感染症の流行という喫緊の社会課題を前にして、「優れた商品やサービスの提供を通じて社会に新たな価値・優れた価値をお届けする」という企業の本源的な役割を、現在ほど強く果たしたいと感じたことはありません。事業活動を通じた社会課題解決への貢献は、当社経営の根幹であります。これまで進めてきた当社のヘルスケア事業への取り組みを、社会への大きな価値提供に結びつけるべく、新型コロナウイルス感染症流行の拡大抑止に貢献するための活動を全力で進めています。

「予防」の領域では、バイオ医薬品の生産プロセス開発及び製造受託を行うバイオCDMO事業において、米国バイオテクノロジー企業Novavax(ノババックス)が開発するワクチン候補の原薬製造を米国・英国の生産拠点で受託しています。





代表取締役会長·CEO

代表取締役社長・COO

古森重隆

助野健児

「診断」の領域では、メディカルシステム事業が、肺炎診断に欠かせないX線画像診断システムや超音波診断装置などを提供するとともに、富士フイルムのAI(人工知能)技術 "REiLI(レイリ)"を用いて新型コロナウイルス肺炎の診断支援技術を開発するなどの先進的な取り組みを進めています。

「治療」の領域では、医薬品事業を展開する富士フイルム 富山化学の抗ウイルス薬「アビガン®錠」について、国家備蓄 や海外からの提供要請に応えるべく増産体制を構築すると ともに、グローバルでの迅速な供給体制を整えています。

当社の新型コロナウイルス感染症への具体的な取り組みを本株主通信で詳しくご紹介しておりますので、併せてご覧ください。

世界各国での感染症流行拡大が、人々の生活や経済活動に様々な制約をもたらす2020年度の状況下において、上期の当社業績もその影響を受け、売上高9,974億円(前年同期比11.9%減)、営業利益565億円(前年同期比38.6%減)となりましたが、2020年度の中間配当金は、1株当たり47.5円を維持します。期末配当金も同様に1株当たり47.5円を予定、年間配当金は昨年と同じ1株当たり95円の予定です。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年12月

シリーズ: 社会のニーズに応える富士フイルムグループのヘルスケア事業

新型コロナウイルス感染症への 富士フイルムグループの取り組み

このシリーズでは、当社が成長領域と位置付けているヘルスケア領域における強みや 今後の成長性を株主の皆様に広くご理解いただくため、具体的な取り組みをご紹介しています。 世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症。

その流行拡大の抑止、終息に貢献すべく、富士フイルムグループは「予防」「診断」「治療」の それぞれの領域で独自の技術を駆使して、総力を挙げて新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいます。



富士フイルムグループの取り組み



抗ウイルス薬「アビガン®錠」 - 新型コロナウイルス治療薬としての製造販売承認申請とグローバル供給体制の構築 -

富士フイルム富山化学の「アビガン®錠」(以下、「アビガン」)は、既に国内では抗インフルエンザウイルス薬として製造販売承認を取得している薬剤です。新型コロナウイルス感染症もインフルエンザウイルスと同種のRNAウイルスです。新型コロナウイルス感染症は、次の3つの段階を経て進行します。

①感染:人の粘膜に吸着して細胞内に侵入し、 ウイルスの設計図RNAを放出

②増殖:放出されたRNAが細胞内でさらにウイルスを複製

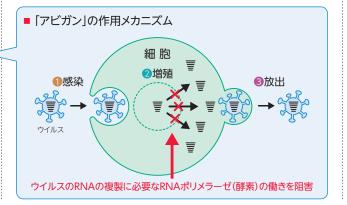
③放出:そのウイルスが酵素の力を借りて細胞の外に遊離

「アビガン」はこのうちの「②増殖」の過程においてウイルスの複製を助ける酵素RNAポリメラーゼの働きを阻害します。これによりウイルスの増殖を抑制します。

2020年3月に開始した、非重篤な肺炎を有する新型コロナウイルス感染症患者を対象とした「アビガン」の国内臨床

第Ⅲ相試験において「アビガン」を投与することで症状の 改善を早めることを、統計学的有意差をもって確認しました。 また、安全性上の新たな懸念は認められませんでした。

この結果を元に、現在の「アビガン」の製造販売承認事項



に、新型コロナウイルスに係る効能・効果、用法・用量を 追加した製造販売承認の申請を10月に行いました。

富士フイルムグループは、日本政府の備蓄増や海外からの提供要請に応えるために、国内外の企業と連携して「アビガン」の増産を進め、9月には月間30万人分の生産体制を整えました。海外では、インドの大手製薬企業Dr. Reddy's Laboratories Ltd (ドクター・レディーズ・ラボラトリーズ) およびドバイに拠点を置く世界的な医療物資・医薬品提供会社Global Response Aid(グローバル・レスポンス・エイド) と提携し「アビガン」の迅速な開発・供給体制をグローバルに構築しています。また、中国展開に向けたパートナー企業に安徽康瓴薬業有限公司(Carelink Pharmaceutical Co.,Ltd、以下、Carelink)を選定しました。Carelinkによる輸入医薬品承認の申請を通じて、「アビガン」の中国市場への導入を目指します。

予防

治療

新型コロナウイルス感染症治療薬の生産プロセス開発・製造を受託

<バイオCDMO事業における貢献>

当社のバイオCDMO*1事業では、FUJIFILM Diosynth Biotechnologies(フジフイルム・ダイオシンス・バイオテクノロジーズ、以下 FDB) が米国(ノースカロライナ及びテキサス)、英国、デンマークの各拠点でバイオ医薬品*2の生産プロセスの開発及び製造の受託を行っています。

2020年6月には、需要の旺盛なバイオ医薬品のさらなる生産能力増強を目的に、デンマーク拠点に約1,000億円を投じて製造設備を大幅に増強することを発表しました。2022年から2023年に順次稼働させ、デンマーク拠点におけるバイオ医薬品の原薬生産能力を倍増させるとともに、同拠点にて原薬から製剤・包装までワンストップで受託できる体制を構築します。

■ワクチン候補の原薬製造受託

ノースカロライナ・テキサス及び英国の3つの拠点で米国バイオテクノロジー企業Novavax (ノババックス)が開発している、新型コロナウイルス感染症のワクチン候補「NVX-CoV2373」 の原薬製造を受託。

テキサス拠点では、米国政府が新型コロナウイルス感染症のワクチン・治療薬の開発を目的として立ち上げた官民連携プロジェクト「Operation Warp Speed」(以下、OWS)の一環として、製造設備拡張を含めた約270億円の助成を受け、原薬製造を行っていきます。英国拠点では、英国政府が調達を予定する6,000万回分の投与量に対応する「NVX-CoV2373」の原薬供給に向けて、2021年初めより製造を開始する予定です。

■治療薬(抗体医薬品)の原薬製造受託

FDBは新型コロナウイルス感染症治療推進プロジェクト「COVID-19 Therapeutics Accelerator (以下、アクセラレーター)」*3から、治療薬のグローバル供給のためのパートナーとして選定され、アクセラレーターが支援するEli Lilly and Company(イーライ・リリー)の新型コロナウイルス感染症向け抗体医薬品の原薬をデンマーク拠点で2021年4月より製造する予定です。これにより、低・中所得国における治療薬の普及に貢献していきます。

特設サイト「新型コロナウイルス感染症への取り組み」

Information

新型コロナウイルス感染症に対する富士フイルムグループの 取り組みをホームページでご紹介しています。

https://brand.fujifilm.com/covid19/jp/



<医薬品事業における貢献>

医薬品事業では、今後の成長分野としてドラッグ・デリバリー・システム技術*4を活用した医薬品開発に注力しています。本年3月には脂質ナノ粒子*5製造装置のリーディングカンパニーであるカナダのPrecision NanoSystems (以下 PNI) と戦略的パートナーシップ契約を締結し富士フイルム富山化学の最新鋭工場にPNI製の脂質ナノ粒子製造装置「NanoAssemblr」(GMP*6対応)を導入しました。この設備を活用して、バイオテクノロジー企業VLP Therapeutics JAPANが開発する新型コロナウイルス感染症向けワクチン候補の製剤のプロセス開発から治験薬製造までを受託していきます。

予防

診断

医療現場での感染拡大抑止や医療従事者・ 患者の負担軽減に貢献

メディカルシステム事業では、医療現場での感染拡大抑止や医療従事者・患者の負担軽減に貢献するため、アルコールによる除菌効果に加え、銀系抗菌剤と超親水コートによる除菌持続性を兼ね備えた当社独自技術「Hydro Ag+ (ハイドロエージー プラス)」を応用した薬用ハンドジェルや抗菌シートを提供しています。また、超軽量移動型デジタルX線撮影装置やコンパクトな超音波画像診断装置など、限られたスペースでも移動や取り回しがスムーズな医療診断機器を提供することで、検査業務の効率化・患者の負担軽減につなげています。

さらに、PCR検査の効率化に寄与する製品も提供しています。 従来よりも検査時間を大幅に短縮する新型コロナウイルス 遺伝子検出キットなどの供給を通じて検査の効率化、検査員の 感染リスクの低減に貢献しています。



「薬用ハンドジェルHA」

果たすべき役割を見極め、新たな価値を提供

私たちは先進・独自の技術を生かし、製品・サービスを通じて、人々に必要とされる新たな価値を提供し続けていきます。 喫緊の新型コロナウイルス感染症だけでなく、 今後もさまざまなアンメットメディカルニーズ**「に応え、事業を通じて社会課題の解決に貢献していきます。

^{※1} Contract Development & Manufacturing Organizationの略。他社との契約に基づいて医薬品などの生産プロセス開発や製造を受託する。

^{※2} 低分子医薬品では実現できない作用を持つ、たんぱく質などの生体分子を活用した医薬品。インスリンや成長ホルモンの他に、ワクチン、抗体医薬品、遺伝子治療薬などを含む。

^{※3} ビル&メリンダ・ゲイツ財団がウェルカム財団やマスターカードとともに立ち上げた新型コロナウイルス感染症の治療推進プロジェクト ※4 必要な量の薬物を必要な部位に必要なタイミングで送達する技術

^{※5} 細胞膜や生体膜の構成成分である有機物のリン脂質などを主成分として構成するナノ粒子。 ※6 Good Manufacturing Practice。品質の良い医薬品、医療用具などを供給するための製造管理および品質管理を定めたもの。 ※7 有効な治療法が確立されていない疾患に対する医療ニーズ。

2020年度上期 決算ハイライト

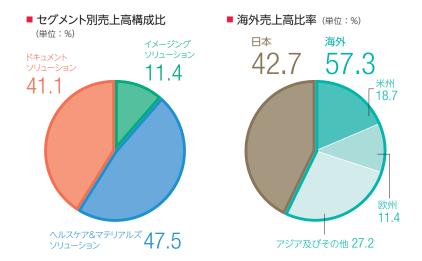
2020年度上期決算のポイント

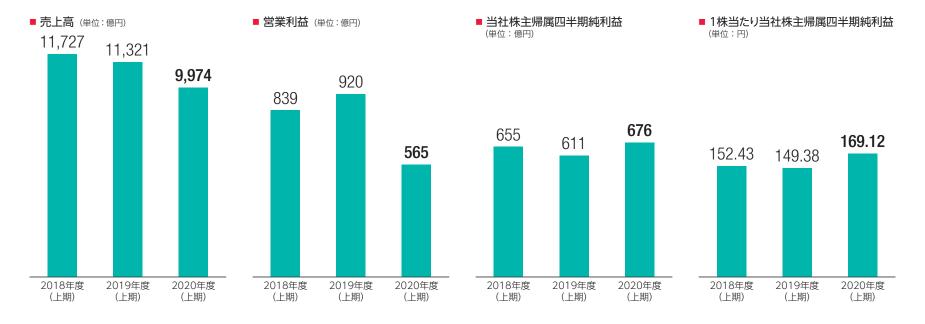
上期業績

売上高は前年同期比11.9%の減収、営業利益は前年同期比38.6%の減益

事業別業績

新型コロナウイルス感染症の流行拡大の影響などにより、ドキュメント、フォトイメージング、グラフィックシステムなどで売上が減少しましたが、バイオCDMO、電子材料などで売上を伸ばしました。





詳細な財務情報は、当社ウェブサイト「株主・投資家情報」をご覧ください。

アドレスはこちら > https://ir.fujifilm.com/ja/investors.html

セグメント別概況

ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション

<事業(ヘルスケア)>

メディカルシステム、バイオCDMO、 医薬品、再生医療、ライフサイエンス

デジタルX線撮影装置 [FUJIFILM DR CALNEO AQROI

■ 営業利益 (単位:億円)

458億円

<事業(高機能材料等)>

ディスプレイ材料、産業機材、電子材料、 ファインケミカル、記録メディア、グラフィックシステム・インクジェット

■ 売 **ト 高** (単位:億円)

4.733億円 (前年同期比3.9%減)

2019年度

(上期)

(前年同期比1.6%增) 4,990 4,927 **4.733** 375

2020年度 (上期)

458 450 2018年度 2019年度 (上期) (上期) (上期)

≫業績概要

2018年度

(上期)

- メディカルシステムでは、持続除菌が特長の薬用ハンドジェル や抗菌シートなどの販売が急増。肺炎診断のための回診用 デジタルX線撮影装置や携帯型超音波診断装置の販売が伸長。
- バイオCDMOでは、バイオ医薬品の生産プロセス開発受託 及び製造受託が好調に推移し、売上が増加。
- 再生医療では、バイオ医薬品製造用途の培地販売などが好調 に推移し、売上が増加。
- 電子材料では、在宅勤務拡大を背景としたデータセンター用 サーバー需要の増加で、半導体プロセス材料の販売が好調に 推移し、売上が増加。

≫今後の取り組み

- ・メディカルシステムでは、AI(人工知能)技術の活用による ソリューション提案を強化。
- バイオCDMOでは、積極的な設備投資でバイオ医薬品の 需要拡大に対応。
- 高機能材料領域の各事業は、市場のニーズにあった高収益の 製品をタイムリーに投入。

ドキュメント ソリューション

<事業>

オフィスプロダクト&プリンター、 プロダクションサービス、 ソリューション&サービス

デジタルカラー複合機 [ApeosPort C7070]

売 上高 (単位:億円)

(前年同期比15.5%減)

(上期)

4,978 4,853 4.102 2019年度 2020年度

■ 営業利益 (単位:億円)

283億円 (前年同期比48.4%減)

549 433 283

2018年度 2019年度 2020年度 (上期) (上期) (上期)

(上期) ≫業績概要

• オフィスプロダクト分野では、中国を中心に販売台数が増加。 また、在宅勤務の浸透により、全国のセブン-イレブン店頭に 設置されたマルチコピー機を利用した「ネットプリント®サービス」 の需要が拡大。

(上期)

- プロダクションサービスでは、新型コロナ影響による経済の 先行き不透明感から投資が抑制され、販売台数が減少。
- ソリューション&サービスでは、強固なセキュリティのネットワーク 環境を実現するサービス「beat 1や、オフィスに届くファクス文書 を自宅で確認ができるペーパーレスファクスソリューション など、リモートワークをサポートする商品の販売が増加。

≫今後の取り組み

- 新しいソリューション&サービスメニューを順次提供し、お客様 の多様化する働き方を支援。
- 進化するデジタル技術と長年培ったドキュメントに関する知見 を生かし、デジタルトランスフォーメーション(DX)を通じて、 お客様のコミュニケーション課題の解決を支援。

イメージング ソリューション

<事業>

フォトイメージング、 電子映像・光学デバイス





[FUJIFILM X-T4]

ミラーレスデジタルカメラ インスタントカメラ "チェキ"

■ 売上高 (単位:億円)

1,139億円 (前年同期比26.1%減) ■ 営業利益 (単位:億円)



≫業績概要

- フォトイメージングでは、イベント自粛・中止などの影響を 受け売上減。インスタントフォトシステムinstax "チェキ"や スマートフォン用プリンター「instax mini Link」の販売が 好調で、インスタントフォトシステム合計で第2四半期では 前年を上回る販売。
- 電子映像では、高速オートフォーカスや高い動画性能を評価 されているミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM X-T4」の 販売が好調。

≫今後の取り組み

- フォトイメージングでは、多様化するお客様のニーズにお応えし、 便利で付加価値の高い商品・サービスを提供。
- ・光学・電子映像は、ミラーレスカメラや交換レンズで特長ある 魅力的な新製品を拡販。超短焦点プロジェクターや長焦点監視 カメラのほか、人の眼で識別できない情報を可視化するマルチ スペクトルカメラシステムの開発など、多様な市場ニーズに 応える画期的な製品を開発していく。

富士フイルムグループトピックス

富士フイルムホールディングス 2030年度CO₂排出削減目標を引き上げ

TOPICS

富士フイルムホールディングスは、原材料調達から製造、輸送、使用、廃棄に至るまでの自社の製品ライフサイクル全体における CO_2 排出削減目標を従来の2013年度比30%から同45%に引き上げました。当目標は国際的な環境イニシアチブである「Science Based Targets (SBT)イニシアチブ」*1より、パリ協定の「2C目標」を達成するための科学的根拠に基づいた目標としてWB2C(well below 2C、2Cを十分に下回る)認定を取得しています。

併せて、CO2削減効果の高い自社製品・サービスを社会に提供することでCO2排出削減に 貢献する目標値を従来の5,000万トンから9,000万トンに引き上げました。

今回改定・新設する主な2030年度までの環境目標

	従来目標	新目標
①自社のCO ₂ 排出削減量	30% (2013年度比)	45% (2013年度比)
②CO2削減効果の高い自社製品・サービスを社会に 提供することでCO2排出削減に貢献する削減量	5,000万トン	9,000万トン
③環境負荷削減に特に優れた富士フイルムグループ 「Green Value Products」の売上	_	全社の60%



富士フイルムグループでは2018年から環境負荷低減に特に優れた自社製品・サービスを富士フイルムグループ「Green Value Products」としてダイヤモンド・ゴールド・シルバーという3段階のランク別に認定する制度を運用し、これまで140製品を認定しました。今回、それら認定製品・サービスの売上を全社の6割にする目標を新たに設定しました。

富士フイルムグループは、これまでも製品やサービスの開発時に環境への影響に配慮し、環境配慮製品・サービスとして社会に提供してきました。今回の環境目標の改定・新設を通じて、「事業を通じた社会課題の解決」と「事業プロセスにおける環境・社会への配慮」の両面での気候変動対策をさらに加速させます。



富士フイルムグループ「Green Value Products」ダイヤモンドランクに認定された製品

新聞用完全無処理サーマル CTPプレート 「SUPERIA ZN-II |

新聞を輪転機で印刷する工程で使用される印刷版 [SUPERIA ZN-I] を用いることで、強アルカリ性の現像処理薬品、水、廃液、現像処理電力のゼロ化と、包装材料の94%の削減や耐刷性向上(長寿命化)等の品質向上も実現。主原材料であるアルミニウムを再利用して同品質のCTPプレートを製造するクローズドループ・リサイクルの効果も合わせると、新聞社1工場あたり年間約390トン*2のCO2排出削減に寄与します。

富士フイルムホールディングス 「デジタルトランスフォーメーション銘柄(DX銘柄)2020」に選定

富士フイルムホールディングスは、経済産業省と東京証券取引所が生産性の向上や既存 ビジネスの変革、新規ビジネスの創出をもたらす



デジタル活用に優れた企業を選定する「デジタルトランスフォーメーション*3銘柄 (DX銘柄) 2020」 に選ばれました。

医療画像診断分野の製品・サービスにおいてICTの活用を強化し、AI(人工知能)技術の自社開発を進め、医療現場を支援していることや、DX人材の育成強化、ICTツールの活用やシステムの構築を通じた業務プロセス改革に対する取り組みが高く評価されたものです。

富士フイルムホールディングスは、今後もAI・IoTを活用したDXを強力に推進し、 幅広い分野において革新的な製品・サービスを提供していきます。

富士ゼロックスが米国リップコード社と DXを牽引するサービス会社「富士フイルムリップコード」設立

TOPICS ?

富士ゼロックスは、米国リップコード社と、企業のデジタルトランスフォーメーション (DX) を牽引するサービス会社「富士フイルムリップコード」を設立し、2020年 9月2日より日本で営業を開始しました。

同社は、文書の電子化によって業務プロセス全体を効率化するビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)サービスの提供を通じて富士ゼロックスが培ったノウハウと、ロボティクス技術とAI(人工知能)を使って書類を高速で電子化するリップコード社の技術を融合し、書類の電子化の大幅な時間短縮を実現します。さらに、富士ゼロックスのソリューションサービスとの連携によって業務プロセスを変革し、企業のDXを加速します。

金融機関でのサービスの活用例

預金口座開設時に記入された大量の手書き申込書を電子化し、 検索性を高めることで、支店窓口業務の効率化や顧客への サービス提供の迅速化につながり顧客満足度向上にも貢献。

^{※1} 地球の気温上昇を産業革命前に比べて2℃未満に抑えるための科学的根拠に基づいた温室効果ガス排出量削減目標を推進することを目的として、2014年9月に、CDP・世界資源研究所(WRI)・世界自然保護基金(WWF)・国連グローバル・コンパクトの4団体によって設立。その後、2016年11月には気候変動に関する国際的枠組みとして、2℃未満に抑えることを目標としたパリ協定が発効。

新製品NEWS

Imaging Solutions

インスタントカメラ"チェキ" [instax SQUARE SQ1]新発売

撮ったその場ですぐにプリントが楽しめるイン スタントカメラinstaxシリーズに、撮影範囲が広く 人気の高い「スクエアフォーマット」のフィルムに 対応したエントリーモデルが登場しました。正方形 のフォルムに操作ボタンはシャッターボタンのみと、 カメラデザインも操作性もシンプルさを追求。 幅広い層の方にスクエアフォーマットのチェキ プリントをお楽しみいただけます。



Imaging Solutions

ミラーレスデジタルカメラ[FUJIFILM X-S10]新発売

独自の色再現技術による卓越した画質と小型 軽量を実現する「Xシリーズ」の最新モデルが登場 しました。小型軽量ボディに新開発の手ブレ補正 機能や高速・高精度オートフォーカス機能を搭載し、 ホールド性に優れる大型グリップや高性能な 「オート撮影機能」を採用。本格的な撮影機能を 備えつつ、優れた操作性で快適な撮影を実現し、 より多くの方に"撮る悦び"をお届けします。



Healthcare & Material Solutions 「アスタリフト スパークル タイト セラム |新発売

エイジングケアを目的としたスキンケアシリーズ 「アスタリフト」の新たなラインアップとして、毛穴

から肌への浸透性を高めた独自成分 「ナノスパークルショット」を配合した 肌引き締め美容液が誕生しました。 肌の上で泡が弾けた後、ジェルに 変化する新感覚テクスチャー「POP (ポップ) スパークルジェル! で、 肌を効果的に引き締めるスキンケア を実現します。エイジングとともに 毛穴が気になり始めた方におすすめ です。



Healthcare & Material Solutions 「アスタリフト ルミナス エッセンス |新発売

アスタリフトベースメイクシリーズから「アスタキ サンチン | や3種のコラーゲンなどの美容成分に 加え、水分を保持し、肌のうるおいをキープする 成分「キャリングアクアオイル」を配合し、スキンケア 効果を強化した新製品(全3品目・14品種)が登場。 ベースメイクアイテムでありながら丁寧に

スキンケアをした後のようなうるおいを

するような柔らかな 光を反射することで なめらかにうるおう ツヤ肌を演出します。



Document Solutions

デジタルカラー複合機/プリンター

「ApeosPort」シリーズの新製品を発売

富士ゼロックスのデジタルカラー複合機/ プリンターブランド「ApeosPort(アペオス ポート) (に、操作性・利便性をさらに向上させ、 セキュリティー機能も強化した新シリーズ 9商品・22機種をラインアップしました。 「かんたん・あんしん・つながる|のコンセプト のもと、優れた操作性とカスタマイズ機能を 全機種共通で提供。利用シーンに応じた 最適な機器を選択可能にし、お客様一人 ひとりの働き方を支援します。



デジタルカラー複合機 [ApeosPort C7070]

投資家インフォメーション

株式データ

株価	単元株式数
5,185円	100株
必要投資金額	証券コード
518,500円	4901
PER	PBR
16.6倍	1.03倍

※2020年9月30日終値をもとにしています。

■配当	金/配当性	向の推移		■=中間	=期末 ◆ =酉	当性向
円 150.00				31.0	30.4	% 35.0
125.00			0.4.5	_	•	30.0
100.00	23.6	23.2	24.5	95.00	95.00 (見込み)	25.0
	70.00	75.00	80.00		47.50	20.0
75.00	70.00		40.00	47.50	47.50 (見込み)	15.0
50.00	35.00	37.50	40.00			
				47.50	47.50	10.0
25.00	35.00	37.50	40.00	47.50	47.50	5.0
0.00						0.0
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	

会社概要 (2020年9月30日現在)

会 社 名 富士フイルムホールディングス株式会社

設 立 1934年1月20日

資 本 金 40,363百万円

本 社 東京都港区赤坂9丁目7番3号

連結従業員数 72,176名

メール配信サービスのご案内

当社の最新情報を電子メールで配信するサービスです。ぜひご登録ください。

ご登録はこちらから >>>

https://www.magicalir.net/4901/mail/index.php



株主優待のご案内

株主の皆様のご支援に 感謝するとともに、当社株 式への投資魅力を高め、 長期的に保有していただく ことを目的とした株主優待 制度をご案内します。

12月実施(基準日:2020年9月30日)

• 単元株(100株)以上保有の株主様 当社ヘルスケア製品

優待価格販売(お申し込み制)

• 1年以上、単元株(100株)以上保有の株主様 当社フォトブック等プリントサービス 利用クーポン券(1,000円分)プレゼント

• 3年以上、500株以上保有の株主様 当社フォトブック等プリントサービス 利用クーポン券(4,000円分)プレゼント



単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

買取請求

100株(単元株式)未満の株式を、当社に対して市場価格で売却できる制度です。

(例)60株を保有の場合、市場では売却できませんが、市場価格で当社が買い取りいたします。

60株

当社に市場価格で

60株

= (¥

現金化

買増請求

100株(単元株式)に不足する数の株式を、当社から市場価格で買い増し、市場で売却できる単元株にすることができる制度です。

(例)60株を保有の場合、40株を買い増して、100株とすることができます。

60株 +

40株を当社から 市場価格で **購入**

40株

)=

単 単元株式

■ 配当金の「□座振込」について

配当金のお受け取りには、安全・確実・便利な「口座振込」をおすすめします。 口座振込のお受け取りは、つぎの3つからお選びいただけます。

①株式数比例配分方式

お取引の証券会社の証券口座で、お受け取りいただく方式 (証券会社に口座がない株主様は、ご利用いただけません)。

②登録配当金受領口座方式

ご所有の全銘柄を、1つの銀行等の預金口座で一括して、お受け取りいただく方式(ゆうちょ銀行の口座は、ご指定いただけません)。

③個別銘柄指定方式

ご所有の銘柄ごとに、銀行等の預金口座を指定し、お受け取りいただく方式。

■ 各種お手続きのお申し出先

①証券会社□座にある株式 ⇒ お取引先の証券会社

②特別口座にある株式

⇒ 三井住友信託銀行

(※下記までお問い合わせください)

三井住友信託銀行 証券代行部

電話 0120-782-031(フリーダイヤル)





